3年11月14日執行

木曽町選挙管理委員会

皆様とのお約束

いつまでも安心して暮らせるまちにします。ポストコロナにおける経済の再生!(町を元気にします!

「防災・減災対策、国土強
☆災害に強い町にします・
出産一時金の増額など、 「子どもの幸せ」最優先!高齢者が生き生きと安心し

子育てを全力で応援します

国土強靭化」をさらに加速化し

元

気

な

町を作ります

めに働かせていただきます。 再 生

☆町営住宅福島団地の駐車場無料化

忘れず、大好きな木曽町のた くださる皆様方への感謝を せていただきました。 六期二十二年間全力で働か これからも懸命に支えて 木曽町議会議員として

> ☆災害時での授乳も安心「液体ミルク」 (毎月診療科ごとの負担が一切なし!) ☆乳幼児医療費の外来窓口完全無料化 ☆暑い日も快適に− 小中学校、

より、

皆様方の力強いご支援に

ごあいさつ

のサイン」を導入(長野県初)! ☆「いじめ」の早期発見につながるサイト ☆福島小学校体育館にもエアコン設置決定: 主な実績 幼稚園にエアコ

るい

安心安全

町匹

立憲民主党公認

いよいよ3期目の選挙です。 あなたの1票で元気な明るい木曽町にしましょう。 しがらみのない**「山田くにおき」**を議会におくり、議会を

50番食堂の3男として生まれる。 武蔵大学経済学部卒。中央労働金庫定年退職

現在も水無神社の氏子総代を

大好きな木曽町にUタ

山田くにおきのManifest

- 1. 経済対策として、年度内に住民1人当たり5万円の 一律給付金を支給する。
- 2. 旅館業、飲食業のみならず、地元の中小企業を応援 します
- 100名規模の自動車関連の企業誘致を行う。 4. 中山道、おんたけ観光の再構築を行う。
- 三岳のゴルフ場跡地の太陽光発電事業の早期推進を 行う。
- 6. 伊那市まで、入院、通勤、通学の為のバス便を開設 する。
- スキー場への資金提供は2025年度までとする。 小中学校の給食費や保育料を無償とするなど、子育て
- 支援の予算を倍増します。 誰でも信州木曽看護専門学校、林業大学校へ入学
- 出来る基礎学力を小、中学から養う。 10. 日義中学校、開田中学の木曽町中学校への統合を
- 速やかに行う 人口増進課を設立するとともに、住民へのサービス
- 向上のため交流センターに福島支所も設立する。 12. 新たな箱もの建設はやめ、財政の健全化をはかります。 13. 木曽病院への応援団宣言をし、医療の充実をはかり

におき

令和3年の改選期を迎えました。この間町民の皆様には、 いろいろとご理解ご協力を頂きまして議会活動できました こと感謝申し上げます。

通年議会を試行、定数の削減、報酬の検討など議会改革を進 めました。議会の機構に災害対策会議を加え災害時の行動 基準を設けました。

町は合併 16 年となり財政力も強化され、庁舎建設など施設 の整備も出来ました。新型コロナウイルス感染症の発生で 人の交流は制約され、結びつきの希薄さが気になります。 明るく、安心安全たしかな町にするため「継続は力」として 着実な町づくりを進めます。ご支援をお願い致します。

これからの 町づくり 目指すものは 1.雇用環境の充実

- 2. 子育て支援住環境の整備
- 3. 教育環境の整備と中学校の統合 4. コロナ禍における医療への支援
- 5. 環境保全と協定制度
- 6. 高齢化社会への対策 7.産業の再生
- 8.確かな木曽町 よりたくましく

インフラ整備(国道 361 号姥神峠道路延伸・小島トンネル 改良) は要請活動により実現となりました。開通確認まで頑張 ります。ご支援をお願いします。





69歳

とみなが けんいち

ーの約束 ①自分の足で事業者・一般町民を訪問し、住民の声を

- 公平に吸い上げ、誰もが容易に理解できる町づくりに 取り組みます ②コロナウイルス感染症拡大に伴う風評被害により損失
- を被った経済立て直しを迅速に行います
- ③地球温暖化により世界的に甚大な被害を引き起こしている致命的な天災事故が起こらぬよう万全な調査、 必要があれば補修を行い、住民の命を護ります
- ④ 将来を担う子供たちのためにグローバルな教育システム を構築し、国際的に通用する子供たちを育てます
- ⑤高齢者が健康で安心して暮らせるための福祉・介護を 実現します
- ⑥現存する観光資源を最大限に活用し、ハブ的機能に加え、 純粋な滞在型観光地にします
- ⑦新たな産業創出および誘致による若者たちの流出防止、 Uターン・Iターン者の雇用を確保します

1960 年旧木曽福島町中島にて出生(両親とも地元出身) 明治大学商学部商学科卒業 株式会社オタリ入社

国内にて海外営業業務を担当後、同社英国現地法人に英会話を駆使し5年間出向 帰国後、転職先にて中国上海に9年間駐在、駐在員事務所長、現地法人代表を務める 4年前にUターンし、木曽おんたけ観光局に入局し 2021 年 10 月 31 日に退局 木曽町、王滝村にて無料スマホ教室を主宰(現在、中断中ですが再開予定)

ないのでの関係では CIVO ETTE COE



育てる・むすぶ・つなぐ 3 本の樹

社会を支える若者が元気なまち

木曽町で生まれ育ち、住みたいと思えるまちづくり 子育て支援の拡充を!

農林業、生産業 観光業、既存産業を守る

全ての人が主役のまち

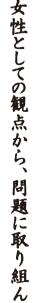
地域のつながりを深め、高齢者を見守る体制づくり 福祉の拡充を!

高齢者の知恵に学び、後世に伝える

安心して暮らせるまち

買い物難民・病院難民を出さないサポート体制づくり 里山整備の拡充を!

未曽有の災害に備える







活力ある 木曽町をめざして

00000

移住希望者への充実した支援と助成 ヘルシータウンで地域住民も健康増進

農業後継者と新規就農者への厚い支援

里山の整備促進とさらなる景観の改善 おちこんだ観光業の再生に尽力をつくし

という。 であり、その集大成は「子ども博物館」であります。 来年の秋にはコロナも治まって子ども達の、 であり、その集大成は「子ども博物館」でありま 大材へのこだわりは、林業の活性化を願っての事 大材へのこだわりは、林業の活性化を願っての事 大大のかと思われる場所に、広々とした駐車場を備 たのかと思われる場所に、広々とした駐車場を備 順うばかりです。 出てきました。各国の出てきましたが、世なってきましたが、世なってきましたが、世なったが、世ののならず、ないののです。



国の努力により、早めの収束を、世界では再流行し始めた国も。十月になってようやく下火に、あらゆる業種で大きな経済的、あらゆる業種で大きな経済的

ちむら 孝男

この選挙公報は、町条例の規定により候補者から申請された原稿を原文のまま掲載しています。



あなたの声が活きる町へ

の声を届けてまり波堤となるよう、 憲法25条の「健康で

思いの方が少なくなりま利」が守られれば苦しい文化的な生活を営む権 す。その責任を国が果た思いの方が少なくなりま さなければいけません。 を守る思いを上田とめ子 の声を届けてまいりま波堤となるよう、皆さん自治体が国の政治の防 みなさんのくらし

憲法95に取り組

●保健所や病院の統磨 ●保健所や病院の統廃 ●交通システムをより えうる林業施策に取り
●土砂災害や水害に耐 組みます 在宅介 お 護者 の負担軽

声を聞い との思 す。 様々な相談が寄せられま 方が増え、 7 子育て、施設入所など 「弱い立場の人が安心 ま介護で苦労される いで いて参りました。 年金や生活保 みなさんの

■プロフィール■

1953年、黒川で生まれ、 杭の原在住。幼稚園教諭をへ て 87 年木曽福島町議初当 選。現在、議会改革特別委員 長、木曽広域連合議会福祉環 境常任委員長、福祉保健医療 懇談会会長など



日本共産党

人の意見の価値が重いのが少数人口の良いところです。 あなたの声を私が届けます。

りづくりをします。 んで楽しく 、住民が木曽町を自慢できる 町づくりをします

を想

町

を想う

は貫徹

します

が持てる町づくりをします

住民が活躍できる町づくり・ 生きが

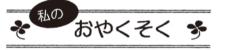


次の4年も

皆さんの思い

必ず町政へ

1期目を務めさせていただきありがとうございました。 高すぎる教育費や医療・介護の問題、また新型コロナや相次ぐ災害 など、私の困りごとは町民の皆さまも同じという思いで、これから も皆さまの声を聞いて走り続けます。



- ●教育費を無料に! ●災害にも強い林業を!
- ●誰もが地元で暮らせる町に!
- ●旧上田小学校を安全・安心の拠点に!

O

雨量計

•

水位計の

設置で素早い非難体制の構築

相

次ぐ災害に対応できる「安心安全」の町づくり

高齢者の安全対策、

地域で見守り隊を 木曽福島保健セン

立ち上げ、交流・支えあいを

子育て支援充実の町づくり

ターを子育て支援拠点に

小中高の

充実や文化を守る人材育成の町づくり

中高の 域景観•

連携強化、

スキー

場やプー

ル有効活用

な

自然エネルギー

を

守り環境と共生する町づくり

~プロフィール~ 松本深志高校卒、大東文化大学経済学部卒。53歳 議会改革特別委員、社会文教常任委員、広報特別委員 夫、次男、実母と4人暮らし

> 将来に目を向け、希望 を常に自覚し議会改革

皆様のご支援をよろ

しくお願い致します。

の持てる木曽町をめざします。

私が

取 IJ

組

む重点項目

受け止め町政に届けます。 三期十二年の活動を活かし、皆様の声や思いをしっかり

安心

Ō

地域

<1

をあなたと共に

議会は町政のチェック機関であり議員の議決責任・説明責任

を進めてまいります。



島さとみ

地域創生戦略は町の総合計画とともに重要なビジョンで、 現在はこの戦略が施策の中心にあります。この戦略を現実 のものとし、人口減少、少子高齢化を抑えることが持続 可能な地域づくりには欠かせないと考えます。10年、20年後 へ希望を持てる木曽町を創ることに挑みます。



松井淳一(まついじゅんいち)プロフィール

○昭和52年 ヘキストジャパン入社(独 外資系総合化学会社)

木曽町議会総務経済常任委員長 国保事業の運営に関する協議会会長 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会会長 美しい村運動推進協議会会長 ○木曽食品衛生協会会長(長野県食品衛生協会常任理事)

❷勇気ある判断と行動で課題を解決します。

皆様とともに進みます。木曽町を明るい持続可能な地域にするために

住民の皆様の声を聴き大切な想い

を実現していきます

持続可能

な町

づ

安心

子供を産み・子育てがで

をします

のどこに住んでいても公平な

暮らしができるよう社会基盤の

構築を目指します

子供

町づくりをします。から高齢者まで夢を持ち安心して暮らせる

明

る

<

木曽町議会議員候補

○昭和 30 年 1 月 5 日(木曽福島町山平)生まれ、木曽西高等学校卒 ○中成 3 年 開田高原にペンション Jハウス開業 ○平成 15 年 開田村議会議員に当選、平成 17 年 木曽町議会議員に当選

町に元気を! 議会に活気を! **5** 情報 ●人のにやさ. しっかり受いに足しげく まいります。 しっかり受け止め町政に反映に足しげく通い、住民の声を言われています。これからも現場「全ての答えは現場にある」と 使った情報発 になるように させていきま 言われて そして議会

しいまちづくり

金融を対象を ❷≡□対林業を基盤とした

金銭の 書に強い 安全 安心のまちづくりい、 が香るまちづくり流が息づく

発信のまちづくり プロフィール

長野県立木曽西 (現木曽青峰) 高等学校卒業

昭和31年9月26日生まれ 65歳

信州大学 大学院 (経済・社会政策科学研究科) 修了

の推進によって関係人口の増加を目指します。姿は、地域活性化の重要テーマです。ワーケーシ都会の人が、働き、遊び、観光を目的に訪れてく

ーション

関係する方が多く住んでおられます。この地域資源 木曽には、音楽、美術、工芸、デザインなど芸術文化に

を生かした芸術文化の街にすべく努力します

ての答えは現場にある



光信など一層精進してにさまざまな媒体を云がもっと身近な存在

職歴 H24 木曽福島公民館長 H25 木曽町議会事務局長 H29~木曽町議会議員

社会文教委員会 委員 議会広報特別委員会 副委員長など

住みよい美しい街の姿を残しながら、変わっていく

社会に耐える木曽にしたい。

私は次の信条で木曽町をより良くしていきます批判だけでは社会は変わりません。

木曽町議会に新風を

町民の目線にたった姿勢で―

まさひろ

1 月 1 4 日(日)

新型コロナウイルス感染対策のため、マスク着用でご来場ください。

午前7時~午後7時 票 所 入場券に記載された町内 19 ヶ所の投票所 投票方法 町議会議員一般選挙は記名式投票です。

(候補者名を書いて下さい)

博士(応用情報科学) 大学教員(科目:地域デザイン) NPO法人情報化連携推進機構 代表理事 一般社団法人スマートワーク推進アカデミー 理事(長野事務所長)

問題、農業課題などの対策を町民目線の姿勢で街づ木曽を衰退させない目標です。人口減少問題、子育て◆SDGsの11番目にある「住み続けられるまちづくり」は

くりを考えていきます。

政のできる仕組みを行政に提案します。りませんか。買い物、交通、身の回りのお世話、等で行お年寄りが日常の生活に困らない街にしようではあ

な政策です。町民の皆様と一緒に考えていきます。子供を大切にする施策は少子高齢化対策の一番重要